

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公表番号】特表2005-529961(P2005-529961A)
 【公表日】平成17年10月6日(2005.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報2005-039
 【出願番号】特願2004-514504(P2004-514504)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 35/37 (2006.01)
A 6 1 K 8/00 (2006.01)
A 6 1 Q 5/02 (2006.01)
A 6 1 K 8/34 (2006.01)
A 6 1 Q 13/00 (2006.01)
A 6 1 K 8/35 (2006.01)
A 6 1 Q 19/00 (2006.01)
A 6 1 Q 19/10 (2006.01)
C 0 7 C 49/443 (2006.01)
C 0 7 C 49/453 (2006.01)
C 0 7 C 49/553 (2006.01)
C 1 1 B 9/00 (2006.01)
C 1 1 D 3/50 (2006.01)
D 0 6 M 13/144 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 35/37
 A 6 1 K 7/075
 A 6 1 K 7/46 3 1 5 C
 A 6 1 K 7/46 3 5 5 L
 A 6 1 K 7/48
 A 6 1 K 7/50
 C 0 7 C 49/443 C S P
 C 0 7 C 49/453
 C 0 7 C 49/553
 C 1 1 B 9/00 D
 C 1 1 B 9/00 M
 C 1 1 B 9/00 N
 C 1 1 D 3/50
 D 0 6 M 13/144

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月19日(2006.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

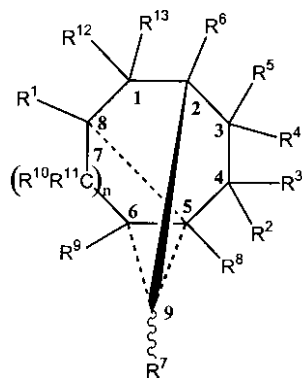
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式 I

【化 1】



式中、

R^1 、 R^4 、 R^6 および R^7 は、独立して水素、メチルまたはエチルであり；

R^2 および R^3 は、独立して水素、または C_{1-5} アルキルであり；または

R^2 および R^3 は、これらが結合している炭素原子と一緒にあって、5員または6員のシクロアルキル環を形成し；

R^5 は、水素、または C_{1-4} アルキルであり；

R^8 は、水素、または分枝低級 C_{3-7} アルキルであり；

R^9 は、水素、メチル、エチル、または分枝低級 C_{3-7} アルキルであり；

R^{10} は、エチルまたはプロピルであり；

R^{11} は、 C_{1-4} アルキルであり；

R^{12} は、ヒドロキシであり；

R^{13} は、水素、または C_{1-4} アルキルであり；または

R^{12} および R^{13} は、これらが結合している炭素原子と一緒にあって、カルボニル基を形成し；

ダッシュ線は、C - C の単結合または非結合のいずれかを表し；および

a) C_5 および C_8 が、単結合で連結し、かつ C_9 および C_6 が、単結合で連結するとき、 C_9 および C_5 は、結合により連結せず、

$n = 1$ であり、

R^7 、 R^8 は、水素であり、および

R^9 は、水素、メチルまたはエチルであるか；または

b) C_5 および C_8 が、単結合で連結し、かつ C_9 および C_6 が、単結合で連結するとき、 C_9 および C_5 は、連結せず、

$n = 0$ であり、

R^7 、 R^8 は、水素であり、

R^9 は、分枝低級 C_{3-7} アルキルであるか；または

c) C_5 および C_8 が、結合により連結せず、 C_9 および C_5 が、単結合で連結するとき、

R^7 は、水素、メチルまたはエチルであり、

R^8 は、分枝低級 C_{3-7} アルキルであり、または

R^7 および R^8 は、これらが結合している炭素原子と一緒にあって、5員または6員のシクロアルキル環を形成し、

$n = 0$ であり、および

C_6 と C_8 との間の結合は、単結合または二重結合でもよい、

で表される化合物。

【請求項 2】

式

で表される化合物とエチルアルミニウムジクロライドまたはメチルアルミニウムジクロライドとを反応させる段階を含み、

式中、

R^1 、 R^4 、および R^6 は、独立して水素、メチルまたはエチルであり；

R^2 および R^3 は、独立して水素、または C_{1-5} アルキルであり；または

R^2 および R^3 は、これらが結合している炭素原子と一緒にあって、5員または6員のシクロアルキル環を形成し；

R^5 は、水素、または C_{1-4} アルキルであり；

R^7 および R^{14} は、独立して水素、メチルまたはエチルであり；または

R^7 および R^{14} は、これらが結合している炭素原子と一緒にあって、5員または6員のシクロアルカン環を形成し；

R^{15} は、 C_{1-4} アルキルであり；

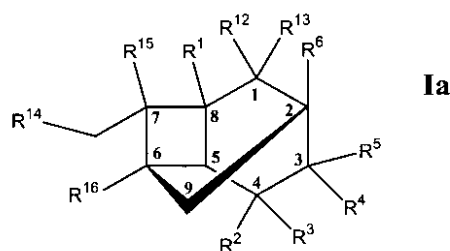
R^{16} は、水素、または低級分枝 C_{3-7} アルキルであり、

および随意に C 1 におけるカルボニル基の還元および / またはアルキル化の段階が続く、前記方法。

【請求項 8】

式 I a

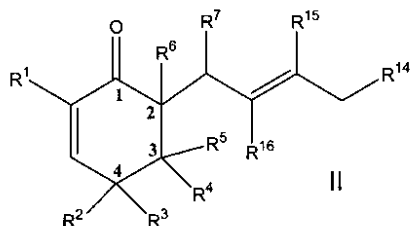
【化 6】



Ia

で表される化合物の調製方法であって、式 I I

【化 7】



II

で表される化合物を光化学的誘発により変換させる段階を含み、

式中、

R^1 、 R^4 、 R^6 、 R^7 、 R^{14} および R^{16} は、独立して水素、メチルまたはエチルであり；

R^2 および R^3 は、独立して水素、または C_{1-5} アルキルであり；または

R^2 および R^3 は、これらが結合している炭素原子と一緒にあって、5員または6員のシクロアルキル環を形成し；

R^5 は、水素、または C_{1-4} アルキルであり；

R^{15} は、 C_{1-4} アルキルであり；

R^{12} は、ヒドロキシであり；

R^{13} は、水素または C_{1-4} アルキルであり；または

R^{12} および R^{13} は、これらが結合している炭素原子と一緒にあって、カルボニル基を形成し；

および随意に C 1 におけるカルボニル基の還元および / またはアルキル化の段階が続く、前記方法。